

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

注意

- キヤスティング（投げ）の時は、ペールを起すことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にこんで、周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
- キヤスティング（投げ）の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
- ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っているハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。
- 糸で指を切るおそれがあります。
- ソックスや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
- 回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをするおそれがあります。

EXSENCE BB

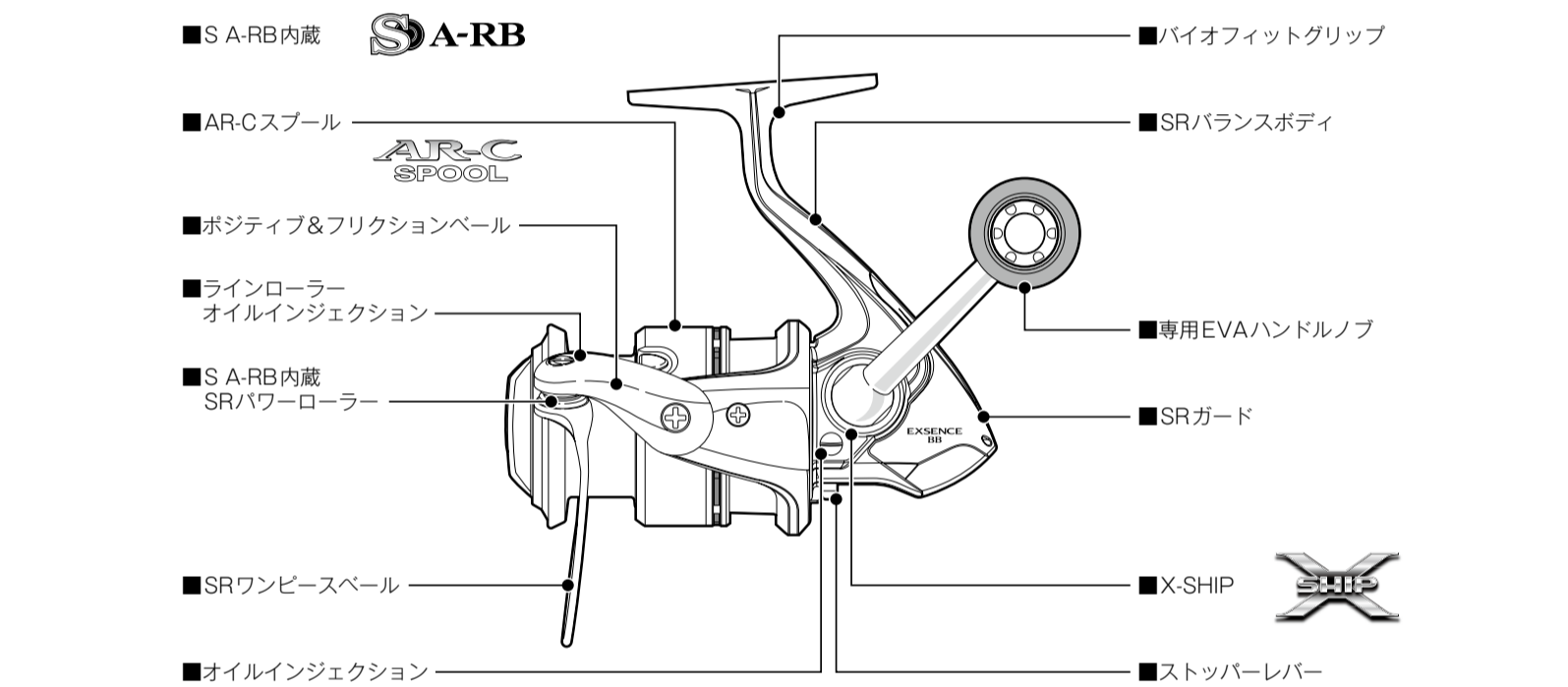
C3000M / C3000HGM 4000S / 4000HGS

取扱説明書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

各部の名称



仕様

品番 商品コード 製品コード	ギア比	ドラッグ力 (N/kg)		自重 (g)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	ベアリング数 (ボール/ ローラー)	PE 糸巻量 (号・m)
		最大	実用				
C3000M 02819 5SE12E029	5.0	88.2 /9.0	34.3 /3.5	270	73	S A-RB 5 /1	0.6-440 0.8-300 1-220 1.2-150 1.5-135
C3000HGM 03002 5SE22E032	6.0	88.2 /9.0	34.3 /3.5	270	88	S A-RB 5 /1	0.6-440 0.8-300 1-220 1.2-150 1.5-135
4000S 02820 5SE12H042	4.8	98.0 /10.0	49.0 /5.0	315	72	S A-RB 5 /1	1.2-190 1.5-150 2-130
4000HGS 03003 5SE22H044	5.8	98.0 /10.0	49.0 /5.0	310	87	S A-RB 5 /1	1.2-190 1.5-150 2-130

●製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●ボールベアリングには、従来の A-RB をシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にした S A-RB を使用しています。

●標準付属品
取扱説明書・分解図・リール袋・ハンドルノブレンチ・糸止めシール・スプール調整ワッシャー（下図）



その他の機能

●イージーメンテナンスシステム
(ボディ+ラインローラー+オイルインジェクション)



●エアラップ (クロスギア) システム



●パワーアルミニウムハイブリッドボディ



●ウォータープルーフドラグ

●フローティングシャフト

●スーパーSTOPPER II (ローラーベアリング 1 個内蔵)

●海水使用OK



●シャワー洗浄OK

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。水中には浸けないようにしてください。



●夢屋パーツ取り付け可能

《夢屋タイプ》

品番	スプール	ハンドルノブ	リールスタンド
C3000M	S-4	A	C *1 *2
C3000HGM	S-4	A	C *1 *2
4000S	S-9	A	D *1
4000HGS	S-9	A	D *1

※1 リールスタンドの取付には、別途ハンドル固定ボルト (05BIO2500 <707102S2500>) とワッシャー (ステラ 1000 <70725481000>) が必要になります。尚、この場合はハンドル折り畳みができなくなります。

※2 Cタイプのリールスタンドが取り付け可能ですが、取り付けが困難、スキマが空く場合はリールスタンド側ネジ部に付いているOリングを取り外して、ご使用ください。

*詳細はシマノホームページでご確認ください。

定期メンテナンス

●**ベアリングの塩噛み**
S A-RB (シールド耐塩水ベアリング) はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する「塩噛み」を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RB ごと交換しなければ完全に解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

●**弊社サービスへご相談ください。**
リールの状態は、使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、**お買い上げの販売店を通じて直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度はお預けいただくことをおすすめいたします。**

商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

●弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧ください。製品名と製品コードをお知らせください。(例/製品名:ステラ 1000S 製品コード:SD83B012)

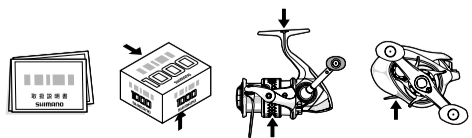
●**リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。**
手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に (例/ストッパーが動かない) お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、粉失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。(例/製品名:ステラ 1000S 商品コード:02425 製品コード:SD83B012 部品番号:2 部品名:スプール)

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。

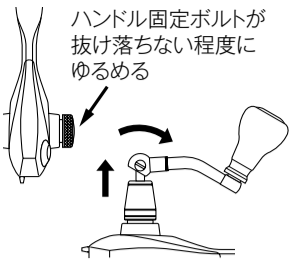
●**商品コード / 製品コードの位置**
取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



使用前のご注意

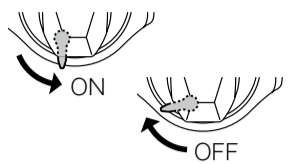
■ハンドルの折りたたみ方法

ハンドルは反対側の固定ボルトによるネジ込み式になっています。たたむ時はハンドル固定ボルトをゆるめ、ハンドル軸をやや引き出し、本体側に倒してください。のぼす時はたたむ時と逆にします。
※ハンドル固定ボルトをゆるめ過ぎますと本体より抜け落ちますのでご注意ください。



■ストッパーレバーの操作方法

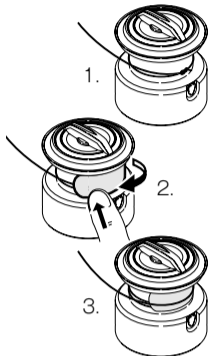
通常は、ストッパー ON で使用します。
●ON 逆転止めが作動し、ハンドルは正転方向にしか回しません。
●OFF 逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも回ります。



■糸止めシールの使用方法

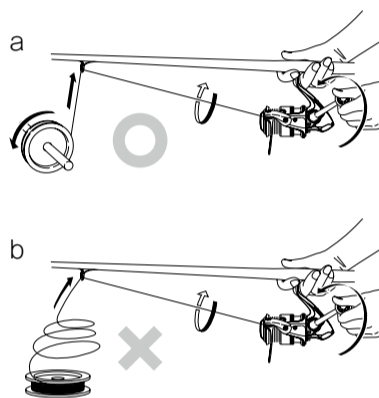
このリールには PE ライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PE ラインをスプールに確実に巻くことができます。

1. PE ラインのチチワをスプールに締め込みます。
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押しつけてください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくりと巻くようにします。)
4. PE ラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちり巻くことが必要です。



■糸の巻き方

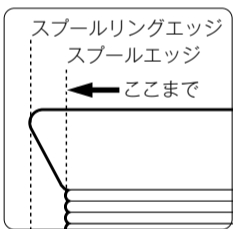
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通して。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度(スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度)なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにしてください。(図 a) 図 b のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱(抵抗熱)によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。(右図) スプールのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合は AR-C スプールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



■糸ヨレについて

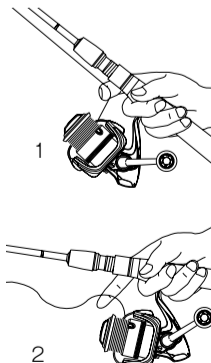
ラインローラー (SRパワーローラー) は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨれている時。
2. シカケが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽いシカケを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

使用中のご注意

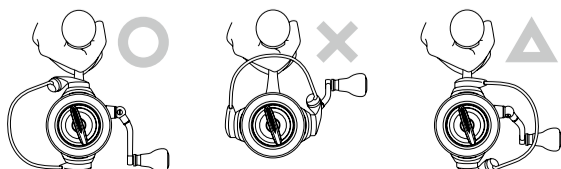
■キャスト方法

ベールを完全に起こし、図 1 のように人差し指に糸を引っかけて下さい。竿を振りかぶって、人差し指に感じる糸のテンションが最大になる時に、人差し指から糸を解放します。(図 2) その際、ドラッグ力が低すぎると、スプールの逆転し指を切る可能性があります。ご注意ください。キャスト後、ベールを手で戻すか、ハンドルを正転させて (ハンドルオートリターン) 巻き取りに入ってください。尚、ハンドルオートリターンの際、ハンドルを廻す勢いが強過ぎると、ベールが戻り切らない事があります。



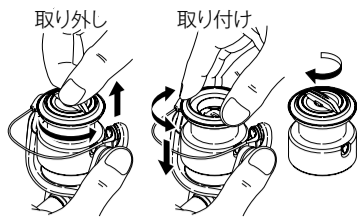
■キャストポジション

図の "x" の位置で思い切り投げると、ベールが戻って糸が切れる可能性があります。"△" の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい事があります。



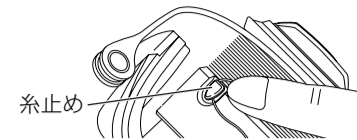
■スプールの着脱方法

●取り外し方 ドラグノブを反時計回りに外れるまで廻してください。
●取り付け方 スプールを左右に廻しながら、完全に底当たりするまで押し込んでください。ドラッグノブを時計回りに廻すと締め付けの事ができます。



■糸の止め方

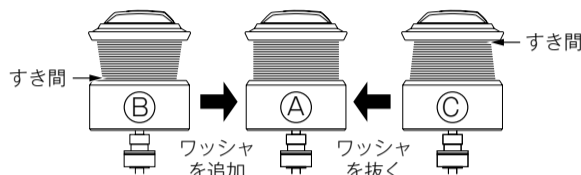
ツメの下側から糸を通して固定してください。



■糸巻形状の調整方法

初期設定は下記それぞれの種類で下図 A のようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは、3号 (12lb) 以下のナイロン、フロロラインが約 160g、3.5号 (14lb) 以上のナイロン、フロロラインが約 300g、そして PE ラインは 2号以下が約 500g、2.5号以上が約 1kg です。PE ラインは十分テンションをかけて巻き上げてください。スプールに巻かれた糸に、爪が食い込まない事が目安です。又、下記以外の号数の糸巻量は「仕様」をご覧ください。

品番	糸の種類	巻量	品番	糸の種類	巻量
C3000M	PE 1.2号	150m	4000S	PE 1.5号	150m
C3000HGM	PE 1.2号	150m	4000HGS	PE 1.5号	150m



●調整方法

上記の基準糸より直径の細いラインを使用すると上図 B の形状となり、逆に太い糸を使用すると C の形状となります。極端な B (=逆テーパ) 形状や C (=順テーパ) は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスプール調整ワッシャで、A (=フラットテーパ) に巻き上げてください。調整方法は下記の通りです。

B 形状の場合… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から追加して少しづつ増やしていき、A の形状に近づけてください。

C 形状の場合… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から少しづつ減らしていき、A の形状に近づけてください。

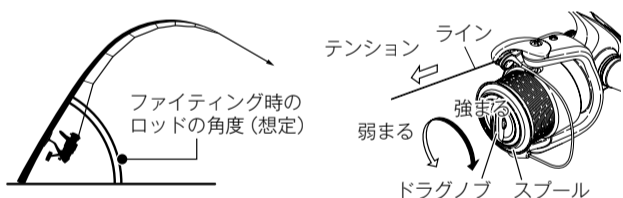
付属しているスプール調整ワッシャは、0.25mm が 2 枚、0.5mm が 2 枚です。尚、使用糸の特性 (堅さ、編み方、表面コートの有無等) によって、同じ号数 (lb 数) でも、糸巻量や糸巻形状が変化します。

※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特に A (=フラットテーパ) に巻き上げる為の調整は必要ありません。

■ドラッグの調整方法

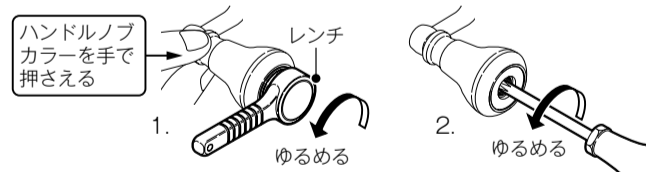
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ (ラインブレイク) を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. ストッパーレバーを "ON" の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらドラッグノブの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。また、ドラッグ力は "実用ドラッグ力" の範囲で設定してください。



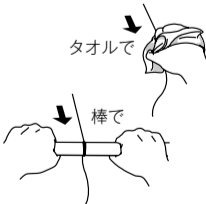
■ハンドルノブの取り外し方

1. ハンドルノブカラーを手で押さえながら、付属のハンドルノブレンチを使い、ハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくりと引っ張るようになって下さい。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。

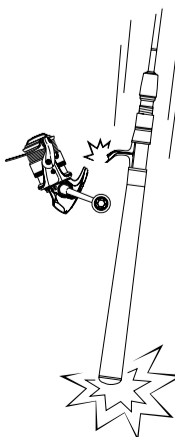


■移動時のご注意点

タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で、密閉された空間 (自動車のトランク、ダッシュボード) に放置されますと腐蝕を起こす可能性があります。

■落下にご注意ください。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。(右図)



■水中での使用は出来ません。

水中での使用には対応していません。絶対におやめください。

使用後のご注意

■保管上のご注意

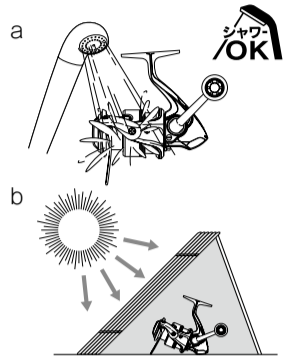
●海でのご使用後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外してください。
●塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間 (自動車のトランク、ダッシュボード) に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。

■必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

■水洗いしてください。

まず、ドラッグ内に水が入らないように、ドラッグを締め込んでください。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いしてください。(図 a) 温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないでください。



■乾燥させてください。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。その際ドラッグをゆるめ、オイルインジェクションの注油口キャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。(図 b)



■注油してください。

オイルとグリスは下図を参考にさせていただき、それぞれ間違えないように噴霧してください。尚、グリス、オイルは弊社純正品 (右記参照) をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。
※ドラッグ部にはシマノドラッグ専用グリス (上記参照) 以外は塗布しないでください。

ドラッグ専用グリスを必要の方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。

SP-003H (リールメンテナンススプレー (セット))	¥1,900
SP-013A (リールオイルスプレー)	¥1,050
SP-023A (リールグリススプレー)	¥1,100
DG01 (リールドラッグ部専用グリス)	¥800

※最寄りの販売店にてお問い合わせください。上記は2012年3月現在の品番及び税抜本体価格です。

●オイルインジェクション (ボディ、ラインローラー) について

オイルインジェクションからオイルを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行 5 回につき 1 度、または、次の釣行までの期間が 1 ヶ月以上ある場合に 1 度を目安にしてください。又、1 度の噴霧 (注油) 時間は約 1 秒です。注油後、注油キャップは必ずお閉めください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。

※オイルインジェクションからのグリススプレーの噴霧はお避けください。ストッパーがきかなくなることがあります。

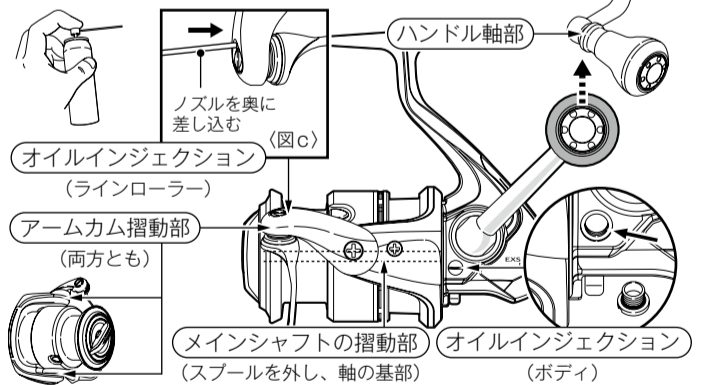
《ラインローラーオイルインジェクションへの注油》

ラインローラーオイルインジェクションよりシマノ純正オイルスプレーのノズルを奥まで差込み、ワンプッシュしてください。(下図 c)

※注意: 噴霧したオイルがラインローラー部の隙間より噴き出る可能性がありますので、リールからスプールを外しラインローラー近辺をきれいな布等で覆った上で、スプレーしてください。また、付着したオイルがリールの回転により衣服等へ飛び散る恐れがありますので、スプレー後はきれいな布等でラインローラー表面を拭き取ってください。

●オイル (スプレー) 使用部品箇所

※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。



■ハンドルノブの取り扱いについて

ハンドルノブには、特殊な材料を使用しており、油分によって侵食されます。メンテナンス等で誤って付着した際には中性洗剤等で洗い流してください。

水没時の緊急措置

万が一、リールを水没させてしまい内部が浸水した場合は、下記の応急処置をとってください。

●淡水の場合

オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、十分に乾燥させた後、シマノ純正オイルスプレーを 1~2 秒間注油してください。

●海水/汽水の場合

真水で水洗いをしてください。その後、オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして完全に塩水を抜き、内部が乾燥するのを待たずに、お買い上げの販売店を通じて弊社サービスに修理品としてお預けください。

EXSENCE BB
C3000M / C3000HGM
4000S / 4000HGS